

シンポ
ジウム

まちなかの 農地を活かす！



農に親しみ、農のある環境を守り高める

今、まちなか
農業が熱い！

まちなかの農地（都市農地）は、安全な食べ物を提供してくれるほか、環境保全やうるおいのある景観などの面から都市生活を支えています。しかし今、法制度改革のなかで大きな転換期を迎えることになりました。都市型農業（荒井氏）、農業公園の経営（齋藤氏）、都市農家の応援（苔口氏）の様子を知ること、まちなかの農地を活かし、農業を応援する方法を考えてみませんか？

とき：**8月19日（日）**
午後2時～4時（1時30分開場）

ところ：**武蔵野プレイス**
4階フォーラム（武蔵境駅南口すぐ）



三鷹駅前地元野菜の配布一月1回—
（写真提供：まちなか農家プロジェクト）

◆講師

- ・荒井 たかし 氏（農業体験農園「野菜塾さかい村」・園主）
- ・齋藤 瑞枝 氏（NPO法人武蔵野農業ふれあい村・理事長）
- ・苔口 昭一 氏（まちなか農家プロジェクト・主宰）

◆交流会（質疑応答、意見交換など）

※最後にまちなかの農地を活かすための宣言を採択します

- 定員：100名
（申込順、事前申込が必要）
- 参加費：無料
- 申込み：武蔵野の森を育てる会
FAX：0422-54-8892
Eメール：info.mnomori@gmail.com
（お名前、住所、電話番号を明記）
- 問合せ：上記Eメール又は下記電話
090-5533-2316（同会・田中）



左：草を食べる除草担当のヤギとともに
（写真提供：農業体験農園「野菜塾さかい村」）
右：農作業の指導（写真提供：武蔵野農業ふれあい村）

主催：NPO法人市民まちづくり会議・むさしの、NPO法人武蔵野農業ふれあい村、武蔵野の森を育てる会
後援：吉祥寺東コミュニティ協議会、Greenグリーン吉祥寺、けやきコミュニティ協議会、コミュニティファーム、境福祉の会、市民が憩えるプレイス西通りをつくる会、ジモッピーネット、西部コミュニティ協議会、関前コミュニティ協議会、玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会、西久保一丁目緑をまもるまちづくり協議会、農業体験農園「野菜塾さかい村」、プレイス木のぬくもりプロジェクト、NPO法人プレーパークむさしの、まちなか農家プロジェクト、三鷹駅北口地区まちづくり準備会、武蔵境活性化委員会、武蔵境商店会連合会、武蔵野市社会教育を考える会、武蔵野商工会議所（50音順）

武蔵野市後援

まちなかの農地をめぐる状況

法制度が変わる！

2022年には市内の農業・農地が大きな岐路に立たされます。これに対し、都市農業振興基本法が成立し、都市農地保全のための法制度が充実してきました

市民の関心の高まり

一方、食の安全、食育、地産地消など「農」に対する市民の関心は高まり、市民農園や農業塾など、自ら農業を体験する人も増えています。

まちなかの農業と農地の可能性

このような状況のなかで、今後のまちなかの農地（都市農地）は、さまざまな可能性を秘めています。

地産地消と食の安全、子どもたちの食育、緑を通じたうるおいのある都市空間づくり、生き物

の生息場所を含む環境保全、資源循環、農業への市民参加、農を通じた地域文化の創造など、無限の可能性を秘めているといえるでしょう。

シンポジウムのねらい

以上の背景をふまえ、このシンポジウムは都市農業の振興と都市農地の保全・活用を後押しすることを目的に行うものです。



ICUの学生とブルーベリー摘み取りを開催（写真提供：まちなか農家プロジェクト）

講師プロフィール

荒井 たかし 氏

大学卒業後、外資系コンピュータメーカーに就職。42歳で退職し妻の実家の畑で農業を開始。3年前に農業体験農園「野菜塾さかい村」を開園。少しでも多くの人に農業の楽しさ、畑の楽しさを知ってもらいたく日々健闘中。

齋藤 瑞枝 氏

社会人を経て恵泉女学園にて藤田智先生に蔬菜栽培を師事。千葉大学大学院自然科学研究科修了。農学修士取得。2008年開園の農業ふれあい公園管理運営のために、NPO法人武蔵野農業ふれあい村を立ち上げる。

荻口 昭一 氏

三鷹市出身、在住。IT関連企業に勤務する傍ら、地域で「複業」の実践。地域×ITの活動として三鷹武蔵野の農家を応援する「まちなか農家プロジェクト」を2016年に開始し、WEBサイト運営（<http://machino.tokyo>）やコミュニティ創出を実践。



農業指導の様子（写真提供：農業体験農園「野菜塾さかい村」）



次世代につなげる子供の農業体験教室（写真提供：武蔵野農業ふれあい村）

主催団体の紹介

NPO法人市民まちづくり会議・むさしの

「武蔵野市都市計画マスタープラン」の策定（平成12（2000）年策定）に参加したことをきっかけに生まれた「まちづくり」NPO法人。広く一般市民を対象として、まちづくりについて市民が主体的に行動し、まちづくりへの参画やまちづくりに関する調査研究、イベント等を通じて、暮らしやすいまちを築き、豊かな社会の実現に寄与することを目的として活動しています。

NPO法人武蔵野農業ふれあい村

武蔵野の農風景を守り、市民に農業体験を通し環境、食育、都市農家への理解を啓発する趣旨で設立。武蔵野市より公園事業を受託。子どもから大人まで幅広い層に対し、多様な切り口で農業体験教室及び収穫体験を開催。「人と自然」、「人と人」、「人と地域社会」の繋がりを次世代へと繋いでいく活動をしています。2016年より杉並区にても同事業を展開。

武蔵野の森を育てる会

武蔵野市緑のまち推進課との協働により、武蔵野市立「境山野緑地（さかいさんやりょくち）」（9,188㎡）に豊かな生態系の雑木林を育てるための保全活動を行う緑ボランティア団体。2017年度東京都公園協会賞の優秀賞を受賞。境山野緑地は、武蔵野の雑木林を継承する林で、玉川上水の未来遺産プロジェクトの対象地になっています。

（チラシ作成2018.7）